

case 04 配管

ものづくりマスター
梶原久人 さん

派遣先企業
井上電設株式会社

ものづくりマスターの派遣を依頼した理由

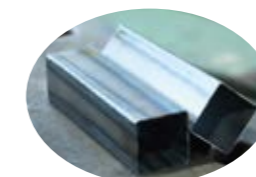
新たなチャレンジに向け 社員の技能を向上させたい

背景 品質向上と新たなチャレンジに 取り組むために

当社は、自社工場で集塵装置などの部品加工、組立、出荷までを行っています。加工については、製缶、板金、切削加工といった業務があり、お客様の信頼に応えるために全工程で技能向上に努めています。同時に、環境問題に対する意識が大きく変わろうとする今、木質バイオマスに関連する装置の開発にも力を入れています。品質向上と新たなチャレンジに取り組む当社にとって、技能は生命線です。そこで、平成28年から、切削加工と溶接の分野で、ものづくりマスターに指導をお願いしています。技能向上はもちろん、若手社員の自主性も育むことができると期待しています。

効果 実技指導と評価システムで技能が高まる

梶原マスターは、従業員一人ひとりの力をしっかり見極めながら、溶接の指導をしてくださって、高い効果を実感しています。当社では、マスターによる実技指導の効果をより高めるために、独自の技能評価システムを作りました。これは、中堅社員が受講者の技能を5段階で評価し、各自の課題と改善すべき点を明らかにすることで、さらなる技能向上を図ろうというものです。技能評価システムを作った理由としては、社員が互いに教えあい、高めあう社風を作りたいという狙いもあります。高い技能を身につけた社員が自主性に目覚め、やがては会社の未来を担う人材となってくれることを期待しています。



井上電設株式会社
代表取締役社長
いのうえ つくお
井上 嗣夫さん



一人ひとりの感覚を重視した指導が 若手社員の技能と自主性を育む

井上電設株式会社

〒460-0022 愛知県名古屋市中区金山4-3-17

設立年 昭和36(1961)年
代表取締役社長 井上 嗣夫
事業内容 集塵装置、環境リサイクル機器の
設計・製造・施工
従業員数 60名(2019年11月現在)



空気中の粉塵を除去する集塵装置しゅうじんを手掛り、集塵プラントメーカーとして国内の木材産業向けでは、トップシェアを誇ります。それ以外にも、木質バイオマス関連のペレット製造装置やプラントなども提供。いずれも開発・設計から製造、現場での施工までを自社で手がけ、現在は旋盤と溶接で、ものづくりマスターによる講習を実施し、技能継承と新しいものづくりに取り組んでいます。

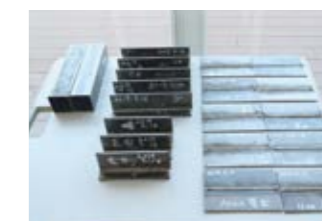
プログラム内容

実施課題 配管
目的 半自動溶接、TIG溶接、アーク溶接、各溶接作業の技能向上
受講対象 溶接作業を行う社員 33名
ものづくりマスター 梶原久人

1回目 アーク溶接の技能講習

2回目 JIS 半自動溶接 基本級レベルの技能講習

3回目 JIS TIG溶接 基本級レベルの技能講習



概要

配管が必要となる重要な技術である溶接の中で、今回は半自動溶接、TIG溶接、アーク溶接など、業務に必要な技能の習得に取り組まれました。基本的な知識・用語に関する座学を行い、実技指導後には学習内容のレポート提出が必須となっています。また、すでに講習を修了した社員が、アシスタントとして後輩をサポートすることで学び続けているのも特徴です。

INTERVIEW

ものづくりマスターと受講者が語る

一人ひとりの能力や適性を見極める実技指導

一人ひとりにふさわしい「やり方」がある

梶原マスターは指導で「一人ひとりの能力や適性を見極めることを心がけている」と言います。

梶原 溶接技能の習得の方法は、人によって異なります。他人の真似ではなく、自分自身の感覚として技能を身につけなければなかなか上達しません。最初は私が手取り足取り指導しますが、最終目標は一人ひとりの努力で自分のやり方を見つけることにあります。

寺本 私は梶原マスターの実技指導をすでに受講済みで、今回は会社側の責任者として後輩をサポートする立場で参加し



ました。その目線で見ると、梶原マスターが一人ひとりのクセを見抜き、それぞれに合った指導法で教えているところに感銘を受けました。会社で先輩にアドバイスするときの手法にしたいと思います。

水本 会社での溶接作業の経験は5~6年ほどあります。ある程度の技能は身についたと思っていましたが、梶原マスターから作業時のクセや姿勢といった細かな部分の指摘があり、目からウロコが落ちる思いでした。まだまだ努力しなければいけないと、気持ちを引き締め直すいいきっかけとなりました。

黒田 施工現場で覚えたアーク溶接を、あらためて学び直すことができました。時間に追われる仕事とは違い、じっくりと取り組むことができ、私自身むらなく安定したレベルで作業ができるようになったと思います。

竹中 私はメッキ工場から転職して2年目になります。溶接に関してはまだ初心者なので、梶原マスターの実技指導は確実な技能が身につけられ、とてもあり

がたいですね。こういう機会を与えてくれた会社にも感謝しています。

努力し続けるために「上には上がいる」ことを忘れずに

技能向上に必要なのは、「優れた仕事を見て刺激を受け、さらに上を目指す」ことだと梶原マスターは語ります。

梶原 若い頃に私の溶接作業を見ていた先輩に「上手いね」と言われたことで、自信をつけました。しかし、そこで止まっていたら今の私はなかったと思います。「上には上がいる」と気づき、以来ずっと努力を重ねてきました。技能の習得でもっとも大切なのは、結局のところ本人の意欲と向上心。その点、井上電設さんの従業員は真面目でやる気があるので、とても教え甲斐があります。

水本 実技指導を通し、溶接技能の精度を高めることが私の目標です。現在、仕事では薄い板金の溶接しか担当していま

さんが、将来はより難易度の高い厚い板金も扱えるようになりたいです。

黒田 梶原マスターは受講者の自主性や個性を尊重して、一人ひとりの成長を見守ってくれます。質問するといつも詳しく教えていただけるので、技能と知識の両面で成長しているように思います。

講習が終わった後が肝心 現場でも学ぶ習慣を

技能者として成長し続けるためには、日々の現場で技能を磨くことが欠かせません。梶原マスターは、「技能習得は講習だけで終わらせてはいけません」と受講者にア

ドバイスを送ります。

梶原 受講者の皆さんには、実技指導で学んだことを仕事で試して終わるのではなく、そこから結果を検証してさらに良くするためにはどうすればいいのかを考えてほしいと思います。その中で、私から習った技能や知識を、自分の「やり方」にまで落とし込むことができれば、技能者として成長できるはず。技能評価システムの構築に取り組んだ井上電設さんの社風なら、それが可能だと思います。

水本 いずれは社内のあらゆる製造部門で、即戦力として通用する技能を身につけたいと考えています。そのために、自分

の「やり方」を模索していくつもりです。
黒田 経験があまりなかったアーク溶接を丁寧に教えていただき、大変勉強になりました。その成果をプラントの施工現場で発揮できるよう頑張ります。

竹中 マスターには、非常に多くのことを教えてもらいました。仕事の休憩時間などに繰り返し練習することで、実技指導で得た技能を自分のものにしたと考えています。

寺本 マスターのアシスタントとして後輩たちの指導のお手伝いにあたりましたが、私自身の課題も見えてきたように思います。今後、社内の若手・中堅社員がお互いを高めあう雰囲気づくりをしていきたいですね。



ものづくりマスター 梶原 久人 さん

平成28年度 厚生労働省「ものづくりマスター（配管職種）」認定

指導内容

技能検定（プラント配管）のレベルに合わせた実技、各種電気溶接の基礎知識、施工技能、機器の取扱い、安全作業など

技能指導の実績

「ガス技能講習会」ガスの安全な取り扱いに関する講師
中小企業技能者育成講座講師など

昭和42年から平成28年まで、大同製鋼株式会社（現 大同特殊鋼株式会社）で技能を磨いた梶原マスター。同社在籍時に、後進の指導に当たるようになり、中国での実技指導の経験もあります。現在は、「ものづくりマスター」「あいちの技伝承士」として、若年層の指導や技能継承に関する企業へのアドバイスを行っています。

一人ひとりが自分のやり方を見つけることが大切

技能の伝え方についてマスターに学んでいます

溶接技能を向上させて各部署で即戦力となれる実力を！

5年後、10年後の自分をイメージしながら学んでいます

仕事の休憩時間などを有効活用して復習しています



ものづくりマスター（配管）
かじわらひさひと
梶原 久人 さん



製造部 工場長
てらもととしあき
寺本 俊明 さん



製造部
みずもと しん
水本 伸 さん



製造部
くろだ こうじ
黒田 浩二 さん



製造部
たけなまこと
竹中 誠 さん